

教育内容			ディプロマポリシー						
			DP1	D2	D3	D4	D5		
			看護の対象である人間を全人的に理解する能力	生命の尊厳と権利を尊重し、対象の思いや意思を支え人間関係を構築する能力	対象の健康状態を判断し、根拠に基づいて看護を実践する能力	多様な環境や人々の中で協同して課題を改善していく能力	看護の本質を探究し、生涯にわたり学び続け、自分も他者も共に成長していく能力		
			人間理解	倫理と人間関係構築	科学的看護実践	協同と課題解決	探求・成長		
			単位数	時間数	配当時期				
基礎分野	科学的思考の基礎	生命現象と科学	1	30	1前	○			
		自然現象と科学	1	20	2前			○	○
		研究論文作成入門	1	20	2後		○	○	○
		法と暮らし	1	30	1前	○	○		
		人間の発達と適応	1	20	1前	○	○		
	人間と生活、社会の理解	生活科学	1	20	1前	○	○		
		人間と社会	1	20	1後	○	○		
		人間と教育	1	30	1後	○		○	
		芸術と癒し	1	20	1全	○	○		
		語学コミュニケーション(英語)	1	30	1全	○	○		
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ 循環器系 血液・免疫 呼吸器	1	30	1前	○			
		解剖生理学Ⅱ 脳神経・運動器・感覚器	1	30	1前	○			
		解剖生理学Ⅲ 消化器 腎・泌尿器 内分泌 生殖器	1	30	1全	○			
		看護のための形態機能学Ⅰ	1	20	1全	○		○	○
		看護のための形態機能学Ⅱ	1	20	1後	○		○	○
	疾病の成り立ちと回復の促進	栄養と代謝	1	30	1前		○		
		感染症と生体防御	1	30	1後	○			
		病理学	1	20	1後	○	○		
		疾病論Ⅰ(循環器障害 運動器障害 呼吸器障害)	1	30	2前	○			
		疾病論Ⅱ(脳神経障害 内分泌障害 血液・免疫障害)	1	30	2前	○			
健康支援と社会保障制度	疾病論Ⅲ(消化器障害 腎・泌尿器障害 生殖器障害)	1	30	2後	○				
	疾病論Ⅳ(感覚器障害 精神病理・ストレス)	1	30	2後	○				
	臨床検査	1	20	2前	○	○			
	治療論Ⅰ	1	20	2前		○	○		
	治療論Ⅱ	1	20	2前		○	○		
	疾病の回復と薬理	1	30	1後	○	○			
	臨床心理学	1	20	3前	○	○			
	社会福祉の現状と課題	1	30	2後			○		
	保健・医療・福祉と法規	1	30	1後	○	○	○		
	公衆衛生学	1	20	2全	○	○			
健康現象の疫学と統計	医療と倫理	1	20	2全	○	○			
	家族支援総論	1	20	2全	○	○			
	保健医療福祉行政論Ⅰ	1	20	2前			○	○	
	保健医療福祉行政論Ⅱ	1	20	3前			○	○	
	保健医療福祉行政論Ⅲ	1	30	4後		○	○	○	
	保健統計Ⅰ	1	30	1後			○	○	
	保健統計Ⅱ	1	30	2前			○	○	
	疫学Ⅰ	1	20	1後	○	○		○	
	疫学Ⅱ	1	20	3全	○	○		○	
	基礎看護学	看護学原論	1	30	1全	○	○	○	○
共通基本技術Ⅰ 技術論 安全・安楽・自立(律)		1	20	1前		○	○	○	
共通基本技術Ⅱ 看護倫理 コミュニケーション		1	20	1前	○	○	○	○	
共通基本技術Ⅲ バイタルサイン フィジカルアセスメント		1	30	1前	○	○	○	○	
共通基本技術Ⅳ アセスメントの枠組み 看護診断過程		1	20	2前	○	○	○	○	
共通基本技術Ⅴ 問題解決過程 SOAP		1	20	2全	○	○	○	○	
生活支援技術Ⅰ 環境調整、活動と休息		1	30	1前	○	○	○	○	
生活支援技術Ⅱ 食と排泄		1	30	1後	○	○			
生活支援技術Ⅲ 清潔		1	30	1後	○	○			
診断治療に伴う技術Ⅰ 無菌操作、酸素・吸引		1	30	1後	○	○	○	○	
地域・在宅看護論	診断治療に伴う技術Ⅱ 薬物療法と看護 各種与薬法 検査	1	30	2前	○	○	○	○	
	地域・在宅看護概論	1	30	1全	○	○	○	○	
	地域・在宅看護活動論Ⅰ	1	30	2全		○	○	○	
	地域・在宅看護活動論Ⅱ	1	30	3全		○	○	○	
	健康回復支援総論	1	30	1後	○	○	○	○	
	死と看護	1	20	3前	○	○	○	○	
	看護倫理	1	30	4全	○	○	○	○	
	災害看護と救命救急	1	20	3前	○	○	○	○	
	公衆衛生看護学概論Ⅰ	1	20	1後	○	○			
	公衆衛生看護学概論Ⅱ	1	20	1後	○	○	○	○	
公衆衛生看護学	多職種連携支援論	1	30	4前	○	○	○	○	
	公衆衛生看護技術論	1	20	2後	○	○	○	○	
	公衆衛生看護展開論Ⅰ	1	20	1後	○	○			
	公衆衛生看護展開論Ⅱ	1	20	2前	○	○	○	○	
	公衆衛生看護展開論Ⅲ	1	20	3前	○	○	○	○	
	対象別保健活動論Ⅰ 成人保健・高齢者保健	2	40	2後	○	○	○	○	
	対象別保健活動論Ⅱ 母子(親子)保健	2	40	3前	○	○	○	○	
	対象別保健活動論Ⅲ 障がい者(児)・精神・難病保健、感染症対策	2	40	3前	○	○	○	○	
	対象別保健活動論Ⅳ 学校保健・産業保健	1	30	3後	○	○	○	○	
	地域づくり論	1	30	4後	○	○	○	○	
成人看護学	公衆衛生看護管理論	1	30	4後	○	○	○	○	
	成人看護学概論	1	20	2前	○	○	○	○	
	成人看護学方法論Ⅰ(クリティカルケアと看護)	1	30	2後	○	○	○	○	
	成人看護学方法論Ⅱ(周手術期と看護)	1	30	3前	○	○	○	○	
	成人看護学方法論Ⅲ(リハビリテーションと看護)	1	30	2後	○	○	○	○	
老年看護学	成人看護学方法論Ⅳ(セルフマネジメントと看護)	1	30	3前	○	○	○	○	
	老年看護学概論	1	30	1全	○	○	○	○	
	老年看護学方法論Ⅰ	1	30	2前	○	○	○	○	
小児看護学	老年看護学方法論Ⅱ	1	20	2後	○	○	○	○	
	小児看護学概論	1	30	2前	○	○	○	○	
	小児看護学方法論Ⅰ	1	20	2全	○	○	○	○	
母性看護学	小児看護学方法論Ⅱ	1	30	2全	○	○	○	○	
	母性看護学概論	1	20	1後	○	○	○	○	
	母性看護学方法論Ⅰ	1	30	2全	○	○	○	○	
精神看護学	母性看護学方法論Ⅱ	1	30	3前	○	○	○	○	
	母性看護学方法論Ⅲ	1	30	4前	○	○	○	○	
	精神看護学概論	1	30	1後	○	○	○	○	
看護の統合と実践	精神看護学方法論Ⅰ	1	30	2後	○	○	○	○	
	精神看護学方法論Ⅱ	1	30	3前	○	○	○	○	
	看護管理	1	20	4全	○	○	○	○	
実習	看護研究Ⅰ	1	20	3全	○	○	○	○	
	看護研究Ⅱ	1	30	4全	○	○	○	○	
	国際看護	1	30	4全	○	○	○	○	
	基礎看護学実習	1	45	1後	○	○	○	○	
	基礎看護学Ⅱ実習	3	120	2前	○	○	○	○	
	地域・在宅看護論実習	1	30	1全	○	○	○	○	
	地域・在宅看護論Ⅱ実習	2	90	3全~4前	○	○	○	○	
	老年看護学実習	2	90	3前	○	○	○	○	
	健康回復支援看護実習	2	90	3全~4前	○	○	○	○	
	周手術期看護実習	3	120	3全~4前	○	○	○	○	
小児看護学実習	1	45	2全	○	○	○	○		
小児看護学Ⅱ実習	1	45	3全~4前	○	○	○	○		
母性看護学実習	2	90	3全~4前	○	○	○	○		
母性看護学実習	2	90	3全~4前	○	○	○	○		
精神看護学実習	2	90	3全~4前	○	○	○	○		
看護の統合と実践実習	3	120	4前	○	○	○	○		
公衆衛生看護学実習	統合実習	2	90	4全	○	○	○	○	
	公衆衛生看護学Ⅰ	2	90	4全	○	○	○	○	
	公衆衛生看護学Ⅱ実習	2	90	4全	○	○	○	○	
公衆衛生看護学Ⅲ実習	1	45	4前	○	○	○	○		